

「労働衛生、健康づくり等の 最近の動向」

◆講師：平岡正弘氏

(中央労働災害防止協会 大阪衛生総合センター 健康快適推進室 室長)

◆日時：2019年1月20日(日) 14:00～15:30
講演会終了後、交流会を開催 15:45～17:00

◆場所：チサンマンション第7新大阪 1階貸会議室

大阪市淀川区西中島6-2-3 (当会事務所があるビルの1階です)

(地下鉄御堂筋線『西中島南方駅』、阪急京都線『南方駅』徒歩 5 分、JR『新大阪駅』徒歩 10 分)

※1単位申請中

ストレスチェック制度が始まって丸3年が経過しようとしています。最近はマンネリ気味というか、受検者の減少やなかなか環境改善までいかないという課題が表れているように感じます。また、働き方改革が労働衛生に与える影響等についても気になるところです。

そこで今回は、労働衛生関係の最近の行政の取り組みの動向について中災防大阪衛生総合センターの健康快適推進室長の平岡先生をお招きし、お話を伺うことにしました。皆様のご参加をお待ちしております。

～講師からのメッセージ～

平成 30 年度は、第 13 次労働災害防止計画の初年度であるとともに、働き方改革に関連する法律が成立し、長時間労働の是正等の措置が 2019 年度より施行されることが決まりました。

労働災害防止計画におけるメンタルヘルス関連の重点項目としては、①労働者の相談体制を 90%以上とする、②事業場として取り組んでいる割合を 80%以上とする、③職場環境改善に取り組む事業場の割合を 60%以上とするなどが示されております。

いずれも、皆様方心理相談員の役割がますます重要となってまいります。今回は今後の取組みについて説明するとともに皆様と情報を共有できればありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

【講師プロフィール】

◆筑波大学体育専門群卒業後、中央労働災害防止協会に入職。厚生労働省の施策である SHP(シルバー・ヘルス・プラン)及び、THP(トータル・ヘルスプロモーション・プラン)の推進に従事。

2002 年に、大阪労働衛生総合センター健康確保推進室長補佐としてメンタルヘルス対策支援事業に携わる。2008 年、中国四国安全衛生サービスセンター専門役を経て、2012 年現職となり、現在に至る。

◇ヘルスケア・トレーナー、心理相談員、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント